

2019年G20大阪サミットに 関する要望

2019年5月

2019年G20大阪サミット関西推進協力協議会

G20 大阪サミットは、これまで我が国で行われてきたサミットとは異なり、都市部において住民生活や経済活動を継続しながら会議を開催する都市型のサミットです。このサミットを、安全・安心な環境のもと成功に導くには、交通総量50%削減という並大抵では実現できない極めて高い目標を達成する必要があります。そのためには、府域を越えた広範な住民・事業者、関係団体等の十分なお理解と積極的なご協力が不可欠であり、その認知度向上に向け、より一層の取組みが必要と考えているところです。

G20 大阪サミット開催まで2カ月を切りました。地元としても、官民をあげて万全な準備に引き続き取り組んでまいります。国におかれましても、次の事項について格段のご配慮・ご支援をお願い申し上げます。

記

1 積極的な広報展開

住民・事業者の十分なお理解と積極的なご協力をいただくため、地元としても、今後とも様々な手法でより一層の広報・周知に取り組むが、国におかれても、政府広報の活用やマスメディア等を通じた積極的な広報展開を行うこと。

2 住民生活・経済活動に配慮した規制

各種規制等については、安全・安心の確保とともに、周辺の住民生活や港湾物流をはじめとする経済活動等にも配慮したものであるとさせていただくよう引き続きお願いする。

さらに、交通規制や政府関連行事等にかかる情報については、住民・事業者への配慮の観点から、引き続き決定された内容の適時適切な情報発信を行われたい。

3 インバウンドへの情報発信

大阪・関西としては、期間中も海外からの観光客等は歓迎するが、規制等によりご不便をおかけすることをあらかじめお伝えしておく必要がある。

このため、期間中の規制情報等について、地元としても海外への発信に努めるが、国におかれても、国の有する広報媒体の活用、さらには関係機関や団体等を通じて、さらに幅広い発信に努められたい。

4 大阪・関西の魅力の世界への発信

サミット関連行事において、大阪・関西が誇る伝統文化や食、工業製品などを最大限に活用すること。

併せて、地元とともに国としても、この機会を積極的にとらえ、国際社会に向け、**2025**年大阪・関西万博やワールドマスターズゲームズ**2021** 関西などのPRを行っていただきたい。

5 若者や子どもたちのサミットへの参画の機会の創出

大阪・関西に在住する若者や子ども達が世界に目を開くきっかけとなるよう、サミットの行事において、各国代表団や海外メディアの方々と直接接することができる機会を創出すること。

6 サミット開催のレガシーづくり

このサミットの成果が、例えば「大阪ルール」や「大阪宣言」として取りまとめられるなど、大阪・関西の名が世界中の人々の記憶に刻まれるような実りある会議となるよう努めていただきたい。

以上

2019年G20大阪サミット関西推進協力協議会

会長（大阪府知事）	吉 村 洋 文
会長代行（大阪市長）	松 井 一 郎
副会長（関西広域連合長）	井 戸 敏 三
副会長（公益社団法人関西経済連合会会長）	松 本 正 義
副会長（大阪商工会議所会頭）	尾 崎 裕
副会長（一般社団法人関西経済同友会代表幹事）	黒 田 章 裕
副会長（一般社団法人関西経済同友会代表幹事）	池 田 博 之